

広報・情報誌 精華町民生児童委員協議会

精華のいぶき

第4号 2013年1月



民生児童委員のマーク

事務局：〒619-0285 京都府相楽郡精華町南稲八妻北尻70（精華町役場福祉課内）TEL.0774-95-1904 FAX.0774-95-3974
URL <http://www.minsei-seika-kyoto.jp/> E-mail minkyos@town.seika.kyoto.jp

北は福井、南は沖縄まで約300名の主任児童委員が、夏の神戸で一同に会し1泊2日の研修会が開催されました。
まず初めに児童福祉の動向と児童委員活動について、行政からの説明があり児童の健全育成のために、児童手当制度や地域子育て支援拠点事業等様々な地域での活動状況の報告がありました。
また、児童虐待防止対策について

全国主任児童委員研修会
西日本大会に参加して

主任児童委員（川西小校区） 河村 佳子

新年あけましておめでとうござい
ます。
今日、政治や経済ともに混迷する中、少子高齢化社会はますます進み、所在不明の高齢者問題や子ども

新年を迎えて
気持ちを新たに

精華町民生児童委員協議会
会長 上羽 弘

の説明では、全国的に見てここ10年で3倍近い5万件以上の児童虐待相談件数があるという報告に驚きました。また、虐待を受けた児童がよく悲惨な事件に巻き込まれる報道を耳にしますが、半数近くが小学校入学前つまり就学前の児童だそうです。そこで、私達にできることは、早期発見・早期相談・通報等です。子ども虐待防止のオレンジリボン憲章に

手助けを求めてくる人、支援をしな
ければならない人の訴えを受け止
めて課題解決に取り組み、地域住民に
信頼される委員をめざしてがんばり
たいと思っておりますので、よろし

の虐待などが社会問
題化し、クローズアッ
プされています。
こうした時に、民
生委員・児童委員を
委嘱された59人は、
力を合わせ、地域住
民の声に耳を傾け、

という3つの不自然な行動で虐待に
気づく手がかりとなるそうです。身
近で知るために、くつろぎ広場を設
けたり、赤ちゃん訪問事業を推進し
たり、ハッピーメッセージを新生児
のいる世帯に届けたりすることだそ
うです。
ブックスタート事業・ハートフレ
ンドとして、集いの広場に参加した
り、学校との交流を深めることによ
り虐待の早期発見につながる努力を

は、
虐待の早期発見と通報について
は、
① 親が不自然
② 子どもが不自然
③ 親子関係が不自然

次に、児童虐待防止の強化にむけ
た主任児童委員の役割について、関
西学院大学才村純教授による講義が
ありました。

くお願いいたします。今回は、各方
面に視察へ行った感想を掲載してい
ますので、ご覧ください。

各自自治体を取り組んでいることも報告されました。

- ① 民生児童委員・主任児童委員の存在をPR
- ② 地域に住む児童の顔を覚える
- ③ 安全・安心な街づくりにつながる協働の輪を広げる。

精華中学校を訪問して

主任児童委員（精北小校区） 谷口 郁子

民生児童協議会では、校区ごとにオープンスクールや学校行事に参加し、登下校時の見守りや「まなび体験教室」等に協力しながら地域での子育て支援に努めています。

また年一回、学校訪問という形で授業参観をし、学校の取組を伺ったり学校や地域での現状や課題について交流する機会を設けています。

今年度は10月4日に、校区の民生児童委員20名で精華中学校を訪問しました。

当日はオープンスクールの日で、同時に進路説明会・学習会も開催されており、高校の先生方や保護者の方々が多数来校されていました。

などの活動を通して、地域の絆を強めることが大切であることも研修できました。

夜の夕食会・2日目の分散会では、各地域の実態交流や意見交換を通して、私達主任児童委員の役割の大切さを改めて感じられた2日間の充実した研修会でした。

玄関を入ると生徒さん達から「こんにちは」と爽やかな挨拶で迎えられました。

はじめに、教頭先生からご挨拶があり概要説明を受けました。本年度は過去十数年間の中で最も落ち着いた状態であること、部活動では吹奏楽の関西大会出場や陸上競技の全国大会出場をはじめ、それぞれの部で着実に成果を上げていること、大きな問題事象がほとんど無く、「いじめアンケート」についても今のところ生徒からの訴えがゼロであること、またそのような良好な状態は「コミュニティスクール」の成果によるところが大きいというお話がありました。

研修センターの会議室に食糧と飲料水が沢山備蓄しているのを見て、防災意識を十分感じて、同センターを後にしました。

町の出入り口には、大きな丈夫な鉄の扉があり、そして梧陵が築いた堤防も見ることができて、少し安心した気分になりましたが、東南海、南海地震規模の津波の事を考えると、まだまだ安心できないのでは、と思いました。

私達の住んでいる、精華町は海から遠く離れていますので、まだ津波に対しての警戒感が少ないのが現状ではないでしょうか。地震・台風やゲリラ豪雨等々が心配です。平成24年8月の豪雨でJR祝園駅付近で床上・床下浸水があり、また他の地区でも床上・床下浸水等がおこりましたので、今後、万全の対策は必要不可欠であると感じています。

帰路に「関西国際空港」見学をしました。私は「関空」は初めてです。格安航空のターミナルで話題の「24時間空港」。バスの車窓からの眺めは、雄大で、関心と感動ばかりでした。

ガイドさんの説明に、空港内にあるコンビニで「関空しかない物があります。それは、シャワー室です。

た。

精華中学校は以前、生徒指導上の大きな課題を抱えており、この事態を打開していくには地域の力を借りて学校運営することなしに前へは進まないという考えから、地域の力を学校に取り込んでいく体制作りを模索し始めました。学校・保護者・地域の連携による「社会総がかりの教育」です。

その後、平成21年9月に「コミュニティ協議会」が発足し、同年10月には「シニアスクール」開講の運びとなります。講師の先生方は全てボランティア。民生児童委員の中にも講師として活躍している方々がいます。

地域の人たちが実際に足を運び、生徒の様子を見て交流することで、「しんどい、荒れている」というイメージが、「こんな良いところがある」

日帰り研修に参加して「稲むらの火の館」

光台五丁目民生児童委員 五十嵐 勇

11月8日の当日は天候に恵まれて、定刻に出発しました。

研修は、和歌山県広川町にありま

料金は300円です。」と教えてもらいましたが、料金を聞いてびっくりでした。1回300円なのでリピーターが少ない、と説明されました。

そして、見学コースのハイライトは「飛行機の着陸見学」でした。旅客機、貨物機ジャンボ機等の着陸態勢を真下から見上げるのでした。非常に興奮しました。

夕方は3〜4分間隔で着陸するそうです。ガイドさんから「ライトが目印になりますので」と教えてもらい、飛行機が「追ってくる」事を体験出来ました。

でも、何回も見上げてみると、首がだるくなり又爆音で話も聞こえず後半は、早くバスに戻りたい気持ちになりました。

勉強になりました日帰り研修

る、こんなに頑張っている」という印象に変化し、生徒達の方も挨拶ができるように変わっていったそうです。

シニアスクールは今年4年目を迎え、17講座182名の参加へと広がり、様々な形で学校行事にも参加されています。毎年秋に行われる収穫祭は大盛況で、「地域に開かれた学校」は、目標とする「地域に貢献できる学校」へと進化を遂げつつあります。

今回、コミュニティスクールの役割について詳しく学ぶ機会を得、改めて「地域の力って大きいんだな」と実感することができました。

同時に、民生児童委員として今後どのような支援ができるのか、もつと地域に貢献できれば……という思いを胸に精華中学校を後にしました。

す「稲むらの火の館」です。内容は「地震後の津波への警戒と早期避難の重要性と人命救助の為の犠牲的精神の

でした。

「天災は忘れた頃にやってくる」と昔から言われています。

改めて、この諺の意味をよくかみしめて「災害時要配慮者リスト」をもう1度確認しよう、と思った研修でした。



丈夫な鉄の扉



堤防も整備



研修センターの様子

発揮」が主でした。それは私達の職務にも関係する事でした。

私が知っている「稲むらの火」は、1854年（安政元年）の津波で、老人の庄屋さんが刈り取って乾してある稲穂に火をつけて、一刻も早く村民に、津波が来る事を知らせたおかげで、多くの人々や子供が高台にある神社に逃げたので助かった、という感動の物語でした。でも実際は少し内容が違っていました。

本当の話は、濱口梧陵(旧・儀兵衛・7代目)はヤマサ醤油株式会社社長で政治家でもある事業家でした。そして安政の大地震と津波の時、「稲むら」に火を放って救ったのです。そして、私財を投じて村民に食糧と復旧工事の仕事を与えました。

濱口梧陵の偉業と精神そして教訓を学び、受け継いで守っていたので2007年（平成19年）4月に、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる「稲むらの火の館」が誕生しました。

「来るべき時に備え、より多くの津波の知識を身に付けて下さい。そして貴方の心にも消える事のない「稲むらの火」の灯を灯し続けて下さい。」と担当の方が話されました。そして、最後に岩手県の三陸地方の方言に「津波でんこ」と言う意味を御存じですか、と聞かれました。「でんこ」とは「でんこ」

地域と共に育む、児童養護施設・乳児院

「京都大和の家」、京都府立宇治支援学校の見学会に参加して

桜が丘三丁目民生児童委員 大野 峰 子

11月20日に児童養護施設・乳児院

「京都大和の家」と京都府立宇治支援学校の見学会に参加させていただきました。地域の人の理解と協力も得て、児童や生徒の教育と暮らしを守るために尽力される教職員の皆様の方々に触れ、深い感銘を覚えることとなりました。

私は、民生委員・児童委員の活動に参加させていただき間もなく2年になります。しかし、児童養護施設や支援学校をお訪ねする機会は今回が初めてで、事前学習もしないままでの見学でしたので、まず、施設の新しさや充実した内容に目を見張るとともに、それぞれの施設、学校が担う役割の重要性と多様性に大変驚

きました。

「京都大和の家」では、0歳から高校生までの77名が暮らしています。それぞれに保護者からの虐待など厳しく辛い体験や苦境を経ているようですが、教職員の方々の熱意と愛情に支えられて、新しい家族として力を合わせ、社会の一員として立てる日のために、学習に励んでいるそうです。

また、一般家庭の環境に近い生活を目指し、様々な年齢・性別で構成する10名程度の子どもの生活グループを創成して暮らすことも、この施設の特徴です。見学させていただいたグループの部屋のドアには、子ども達のかわいい絵やメッセージ

が掲げられ、とても温もりを感じる空間でした。見学時には、子ども達も学校から帰っていませんでしたが、たくさんの方々の笑顔に出会えたように思えます。

宇治支援学校には小学部86名、中学部60名、高等部90名が在籍し、一人ひとりの「自立と社会参加」を実現するため、その障害の状況に応じてきめ細かな教育が実践されています。また、学校が市街地に立地する

特徴を活かし、地域の中で、生活する力、働く力などを育むための取り組みが実施されています。特に、「生徒と地域は共にある」というノーマライゼーションの理念に基づき、地域の方々との日常的な交流の拡充や、製品販売、地域清掃など地域に貢献する授業の展開に力が注がれています。

また、高等部においては、就業に役立つコミュニケーション能力を養うために、校内に設置された喫茶店「かふえJOY」での販売・接遇体

験学習が実施されるなど、ユニークな教育実践が特徴です。私達も喫茶店を利用しましたが、とてもしっかりと接客していただきました。このお店は一般の方にもご利用いただけますので、ぜひ、多くの皆様にお訪ねいただければと思います。因みに、コーヒール、ジュースが各100円です

今回の見学会を通じて、限られた時間ではありましたが、児童養護施設・乳児院と支援学校における教育実践や地域の人々との交流の姿を学ぶことができました。

また、同時に、児童・生徒の生活する力、働く力を育むためには、地域の方々の暖かい理解と積極的な支援がとても大切であることを改めて認識いたしました。

施設や学校を案内いただいた関係者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、学ばせていただいたことを民生委員・児童委員としての今後の活動に活かしてまいります所存です。

精華町民生児童委員名簿		
担当地区等	氏名	
菱 田	松阪	治彦
菱 田	田中	清子
菱 田	吉川	君代
滝 ノ	原田	信子
中 久保	安場	育代
舟	中津	由紀子
舟	平木	村澄子
里	石本	本俊和
僧 坊	檀上	幸裕
僧 坊	西手	宏子
谷	永嶋	美栄子
北 稻八	間澤	田依久世
南 稻八	妻村	瀬由美子
南 稻八	妻白	畑丈子
植 田	倉崎	眞理子
菅 井	保田	邦子
北 ノ	堂奥	田浩
北 ノ	堂岡	田敦子
馬	近井	谷且雄子
南	筆谷	川万里子
南	小井	上祐子
祝園西一丁目	園田	健二
祝園西一丁目	高田	健二
中	大西	利傑
東	田中	美香子
東	松本	本富美
西 北	古川	育子
山 田	山本	千恵子
乾 谷	青木	富美子
柘 榴	清水	美鈴
東 畑	上西	万里子
桜が丘一丁目	池田	千明
桜が丘二丁目	本野	眞理子
桜が丘三丁目	大野	峰子
桜が丘三丁目	エスベローマ	松尾 禮子
桜が丘四丁目	小西	明一
光台四丁目	蓑毛	惠津子
光台四丁目	高橋	朝子
光台五丁目	五十嵐	勇
光台六丁目	尾方	栄一
光台六丁目	神田	市朗
光台七丁目	齋藤	藤彦
光台七丁目	近藤	かほる
光台八丁目	強田	富美惠
光台九丁目	中尾	雅
精華台一丁目	有馬	裕美子
精華台トチノキ	森	修美
精華台二丁目	加藤	中博
精華台三丁目	田中	義明
精華台四丁目	上羽	弘
イングスアズ・マニッシュ・コート	山口	啓二
主任児童委員	谷口	郁子
主任児童委員	河村	佳子
主任児童委員	飯田	智香子
主任児童委員	大谷	洋子
主任児童委員	石橋	かおる